

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	農排統合事業	部課名	経済建設部・下水道課
		作成者	花木 喜久治
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業集落家庭排水施設を流域関連公共下水道へ統合し、維持管理コストの削減が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公共下水道築造事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
農排統合の進捗率	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		20	40	60	80	100
	実績値	10	20				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			11,074千円	16,785千円	
人件費	a 事業費合計		9,288千円	15,012千円	19,700千円
	正規職員	人数	0.3人	0.3人	
		b 金額	1,786千円	1,773千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		1,786千円	1,773千円		
② 補助金等(収入)			4,644千円	7,500千円	9,850千円
③ コスト(①-②)			6,430千円	9,285千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			93円	135円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	事業スケジュールは計画どおりに進んでおり、中施策実現に向けての事務事業は期待された役割を果たしている。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	適切な基本設計、事業計画策定、法手続き等を実施し、農排統合に係るコストの縮減を図っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	適切な詳細設計、工法選定等を実施し、農排統合に係るコストの縮減を図っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名 家庭排水施設事業	内容、理由、時期等 平成33年4月に流域下水道事業へ移行するため、浄化センターの廃止、条例改正等の準備を進める。
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

# 中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	公営企業会計移行事業	部課名	経済建設部・下水道課
		作成者	花木 喜久治
①めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
②大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する		
③中施策	市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	対象に対し説明責任を果たし、下水道事業の透明性が確保されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公営企業会計移行事業		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公営企業会計導入の進捗率	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		40	60	80	100	100
	実績値	20	40				
単位	%						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			3,297千円	7,230千円	
人件費	a 事業費合計		2,106千円	6,048千円	15,639千円
	正規職員	人数	0.2人	0.2人	
		b 金額	1,191千円	1,182千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		1,191千円	1,182千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			3,297千円	7,230千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			48円	105円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	公営企業会計移行に向けて計画通り進んでいる。取り組み状況等は現状で未公表であるが、市民に分かりやすく情報提供する準備を進めた。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市のホームページや広報を活用し、本事業の取り組み状況を公開する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市のホームページや広報を活用し、下水道事業経営、資産等市民にとって必要な情報を分かりやすく公開していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		